

コード	403040405
記入日	H24.6.8

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	松竹 昭典

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域イベント活性化補助事業
----------	---------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40304	基本事業名称	観光商業の振興	目コード	2
事務事業コード	4030404	事務事業名称	商工振興事業費	細目コード	139
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町商工観光振興奨励事業費補助金交付規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 住民	(対象指標1) 22,720人□(H23.4.1現在)					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)	
*****	・補助金交付団体 5団体 →サマーフェスティバルinわかまつ →奈良尾夜市と花火 →ざあーまによか夏上五島 →どてらい市 →ありかわ縁日	*****	*****	*****	*****	
		①	補助金交付件数	5件	100%	補助金交付団体数÷ 補助金交付予定団体数 平成23年度
		(達成率分析)	計画していたイベント実施団体全てに補助金を交付した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)	
		*****	*****	*****	*****	
		①	集客数	16,000人	101%	集客数÷ 目標参加者数 平成23年度
		(達成率分析)	集客数は、ほぼ目標どおり達成し賑わいのあるイベントの実施ができた。			
		②				
		(達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	32	32	27	5	5				
	②									
成果指標	① 人	86,800	86,600	70,600	15,800	16,000				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	40,818	40,818	35,368	5,450	5,450				
直接事業費 A	千円	35,918	35,918	31,168	4,750	4,750				
人件費 B	千円	4,900	4,900	4,200	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.7	0.7	0.6	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	9,200	9,200	4,600	4,600	4,600			
	その他	千円								
一般財源	千円	31,618	31,618	30,768	850	850				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	地域の活性化策として、バックアップしていく必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	イベントの開催は、地域の活性化を生んでいる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	イベントの内容を寄り充実して集客数を増やしたいことが重要になる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	交付要綱による補助である。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理由	事業費及び人件費は適切である。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	毎年、実行委員会と協議しながら、実施内容の検討を行っている。
	今後、課題に向けた改善策	今後も、費用対効果と集客数の状況を考慮しながら、地域の活性化に繋げて生きたい。

2 次 評 価	各団体の自主性を尊重し、地域の賑わい活性化に向けた取組を支援し、住民協働のまちづくりを図っていくこと。また、各実行委員会の独立を促しながら新たな対策に向けていくよう検討すること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。